

令和6年第1回敦賀市教育委員会 議事録

1. 日 時 令和6年1月5日(金) 13時00分～13時30分

2. 場 所 消防庁舎2階 防災研修室1

3. 出席者

	教育長職務代理者	岸 本 松 則	委 員	中 宮 智 子
	委 員	堺 啓 輔	委 員	宮 川 和 彦
事 務 局	事 務 局 長	山 本 麻 喜		
	教育総務課長	多 賀 隆	学校教育課長	戸 羽 嘉 和
	生涯学習センター所長	鈴 木 一 良	文化振興課長	中 川 有 希
	総合運動公園所長	橋 詰 裕	文化振興課主幹	中 野 拓 郎
	給食センター所長	加 藤 雅 之	教育総務課課長補佐	小 保 麻 貴
	教育総務課係長	刀 根 慶 太	教育総務課職員	森 川 友

4. 内 容

(1) 教育長職務代理者あいさつ

(2) 報告事項

○第1号「令和5年第12回敦賀市教育委員会議事録の件」

(教育総務課長説明)

異議なく了承

○第2号「寄附採納の件」

(教育総務課長説明)

異議なし

○第3号「ヒューマンアカデミーSTEAM スクール ロボット製作無料体験会 後援の件」、第4号「生駒市・敦賀市 ジュニア吹奏楽友好都市交流コンサート 後援の件」、第5号「寄附採納の件」、第6号「寄附採納の件」、第7号「寄附採納の件」、第8号「寄附採納の件」

(学校教育課長説明)

異議なし

○第9号「朗読なぎの会 第25回朗読公演 後援の件」

【その他報告事項等】

・20歳のつどいについて

1月7日(日)午後1時から举行されますので、委員の皆様方のご臨席をお願いいたします。

(生涯学習課長説明)

異議なし

○第10号「北陸新幹線福井・敦賀開業記念「横山大観展」 後援の件」、第11号「令和6年初吟発表会 後援の件」

(文化振興課長説明)

異議なし

○第12号「第20回記念京都府北部タグラグビー交流会 後援の件」

(スポーツ振興課長説明)

異議なし

(3) 審議事項

○第1号「敦賀市指定文化財の指定について市文化財保護審議会に諮問する件」

(文化振興課長説明)

岸本委員…暗渠の中は何が通っていたのですか。

中野主幹…暗渠の下は水です。鉄道は線路をずっと引いていくと川や水路を分断していくので、あらかじめしっかりとレンガ造りで暗渠を作ったり、大きく橋を架けたりということが一番最初の時点で行います。ここも明治14年の鉄道工事の時期に作られた暗渠です。

中宮委員…これは補修などはしていないのですか。

中野主幹…現状は残されていたままです。レンガのアーチ部分は、本来は石などをセメントで固めてその上を電車が通るかたちになっています。

堺委員…この当時の路線の後は、これとトンネル以外は何も残っていないのですか。

中野主幹…明治15年2月に開通した最初の鉄道の資料としては、金ヶ崎のランプ小屋、この眼鏡橋、疋田の大きなレンガのアーチの暗渠、疋田駅のプラットホームの基礎、市指定文化財の小刀根トンネルです。

堺委員…他のところは文化財指定はないのですよね。

中野主幹…疋田のきれいに残っているレンガの暗渠については、市の管理部分と、民間の住宅も建っているので指定する同意や、見学が難しいところです。今のところこの辺については壊れているところもないので、現状は現状のまま周知を図りたいと思います。

堺委員…文化財指定をしなくても管理や保全、壊れていないかなどのチェックは可能なのですか。

中野主幹…そこの水路に限って言いますと、水路としての管理は家が建っているところから4メートルほど低いところに水路が走っているので、上の方の家が建て替えられたとしても影響は及ばさない状況です。

堺委員…この時代のこういうものに対して価値を見出していただけるのは、重要なことだと思いますし、同等の価値のあるものは他にもあると思いますので、できるだけ同じ

ような保存活用を行って行けたらいいとおもいますのでよろしくお願ひします。

岸本委員・・・新幹線も3月16日に開業しますので、敦賀は鉄道関係が非常に古い歴史がたくさんあるところなので、この一点で文化財と取り上げるのではなく、他と関連させて総合的に一括して指定することは無理なのですか。

文化振興課長・・・今、日本遺産の海を越えた鉄道ということで、鉄道関連の部分が日本遺産として登録されております。観光課の方でもパンフレット等でストーリー的なもので広報しています。

全会一致承認

(4) その他

・学校給食あり方検討委員会の答申について

(給食センター所長説明)

資料は32ページになります。こちらの資料は、昨年9月1日に諮問させていただいたものに対する答申の文書です。内容ですが、9月に諮問させていただいてから4回にわたり、あり方検討委員会の委員さんにご検討をいただきまして、22日に答申をいただきました。内容に関しては学校給食の摂取基準に即した献立と単価について検討いただいたのですが、献立に関してはおおむね基準に即したものが認められるものの、物価高騰や給食センターの老朽化、設備の不備等で、一部栄養に不足しているようなものも認められましたので、改善してほしいという内容と、物価高騰がかなり進んでおり、今の単価では厳しいということで値上げの答申も併せていただきました。学校給食センターの金額を基準と定めると、小学校で現行の1食あたり251円に対して60円値上げの311円、中学校は現行の1食あたり286円に対して72円値上げの358円が望ましいという答申を受けました。敦賀市はあくまでセンターが基準ということで申し上げましたが、自校給食校とセンター給食校が混在しておりまして、自校給食校に関しては学校ごとに給食費を定めておりますので、あくまでこちらの方を基準として各学校で定めるという内容になっております。この附帯意見の方でも出ており、給食費が物価高騰の折で、内容を維持していこうと思うとこのぐらいの金額が必要にはなってくるのですが、これをそのまま保護者の負担に転嫁しますとかなり値上げになりますので、材料費はやむなしなのですが、保護者の負担は軽減するように国、県からの支援策を活用するとともに、市独自の支援策も検討してほしいという附帯意見が出ております。そのほかの附帯意見の主なものとして、今申し上げたように給食費が学校ごとにばらつきがありますので、そちらも一本化するのが望ましいのではないかという答申も出ております。主な内容はそういったことになるのですが、こちらを踏まえまして、今後敦賀市の教育委員会としての対応の方針、並びに敦賀市としての市長部局とも調整して方針を定めていくという流れになると思います。特に、公費の負担及び、ばらつきをなくすということに関しては多額の支出が必要となりますので、今当初予算の予算査定最中なのですが、こ

ちらで対応できないか検討を進めていこうと考えております。今月の中旬には財政当局や市長の査定を受ける機会もありますので、そちらの方で最終的に予算化ができれば、今後お示しができるかと考えております。そういったことをまとめた教育委員会の方針については改めて決裁をもって報告し、ご了承いただければと考えております。現時点での答申の報告については以上です。

岸本委員・・・学校給食費を無償化している他の自治体はありますか。

加藤所長・・・福井県内の市では一つもありません。町では永平寺町と高浜町がしております。

県外の近隣ですと、滋賀県の高島市と長浜市の小学校のみが無償化です。

教育長 _____ 上野 弘 _____

教育委員（職務代理者） _____ 岸本 松則 _____

教育委員 _____ 中宮 智子 _____

教育委員 _____ 堺 啓輔 _____

教育委員 _____ 宮川 和彦 _____

議事録作成者

教育総務課 刀根 慶太